常識外れ？の発見

　常識外れの細菌を発見されました。40億年前位の地球環境で、今なお生息している細菌がいて、その細菌は、酸素呼吸のような生命維持に必要な遺伝子がない生物だという。何をエネルギーにして生きているのか全くの未知の生き物であるとされており、「生命の起源の発見につながるかもしれない。」というものでした。



40億年前には、常識であったかもしれないこの細菌、40億年後の現代では「常識外れ」と呼ばれている存在になったことに、少し同情しつつも、本当に生命の起源の発見が可能なら、是非、私の生きている内にと思っています。

このニュースを見つけたのは、本当に偶然で、いつも見ているサイトに小さく掲載されていただけでした。特にこの分野に興味が高いわけでもないのですが、地球外生命体、AIといったニュースと共に、私の中では、まだ、SF的なものとしてとらえています。が、ロボットなんて、アニメの中だけと思っていたら、既に実用化され、自動運転車も実用化に拍車がかかっている時代では、常識と常識外の境界もどんどん変化していき、追いつけないのではないか。と不安になる時もあります。

私の考え方や、ものの考え方も現代の思考方法では、常識外れな部分があるのだろうと、痛感することがあります。変わってほしくないものが、どんどん変化していき、変わってほしいものが、全く変わらない。等と思う事自体、常識外なのかもしれません。

これから先、様々な価値や生まれ、消えていく中、変わらない事の価値を丁寧に解明していくことで、新しい価値のヒントが見つけることが出来るのではないかと、思っています。どこからの視点で、どの様な目線をとらえるかによって、これまでの顧客、ユーザーの好奇心の満足を高める事が出来るのではないでしょうか。

ルグランでは、顧客やユーザーの理想的なユーザーエクペリエンスをデザインし、常識外れの発見をするお手伝いをしています。一緒に多面的目線を持ってみませんか。